

2 体 操

大会名称 第50回宮崎県高等学校総合体育大会第75回体操競技大会
兼全国高校総体・九州高校体育大会県予選会
主催 宮崎県高等学校体育連盟・宮崎県教育委員会
後援 公益財団法人宮崎県スポーツ協会・宮崎県体操協会
主管 宮崎県高等学校体育連盟体操専門部

1 期 日 令和 5年 5月26日(金)～ 5月28日(日) (3日間)
5月26日(金) 13:00 設営・開会式・公式練習
5月27日(土) 8:00 公式練習・競技
5月28日(日) 8:00 公式練習・競技・閉会式

2 会 場 宮崎県体育館

3 競技規定

(1) 日本体操協会競技規則および採点規則(全国高体連適用)による。

4 競技方法

(体操競技)

競技別	方 法
団 体	団体得点は、競技Ⅰ(団体選手権)における各種目上位3名の得点を合計したものとし、自由演技の得点の合計により順位を決定する。
個 人	競技Ⅱ(個人総合選手権)における全種目の自由演技の得点合計により順位を決定する。
種目別	競技Ⅲ(種目別選手権)における各種目別の自由演技得点により順位を決定する。

(新体操)

性 別	競技別	方 法
男 子	団 体	自由演技の得点により順位を決定する。
	個 人	「スティック」および「リング」の2種目の合計得点により順位を決定する。
	種目別	個人競技の各種目別得点により順位を決定する。
女 子	団 体	自由演技得点により順位を決定する。手具は「フープ5」とする。
	個 人	「ボール」および「クラブ」の2種目の合計得点により順位を決定する。
	種目別	個人競技の各種目別得点により順位を決定する。

5 引率・監督

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は、校長の認める学校の職員とする。
- (2) 監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

6 参加資格

- (1) 宮崎県高等学校体育連盟に加盟している高等学校(中等教育学校後期課程を含む)生徒であること。
- (2) 令和5年度日本体操協会登録を完了したものであること。
- (3) 年齢は平成16年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) チーム編成において、全日制の課程と定時制・通信制課程の生徒の混成は認めない。
- (5) 参加する生徒は予め健康診断を受け、在学する学校長の参加申込書を必要とする。
- (6) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)ただし、一家転住等やむを得ない場合は、所属高等学校長の申請により県高体連会長が認可する。
- (7) 参加資格の特例
 - (ア) 上記(1)に定める生徒以外の参加については、開催基準要項に準ずる。
 - (イ) 新体操団体において、学校統廃合に伴う参加は、対象となった学校の部同士の合同チームを認める。
 - (ウ) 部員不足に伴う複数校合同チームの大会参加について、新体操団体に限り以下の条件で認める。

- ① 対象校の部員数が出場人数（エントリー数ではない）に満たない場合。
- ② 常日頃より合同練習を行っていること。
- ③ 異種競技の生徒であっても対象校の校長が認め、日本体操協会の登録が完了している者の補充。

7 参加制限

- (体操競技) ア) 団体競技は男女共各校1チーム。
 イ) 個人競技は各校男女共5名まで出場することができる。
 ウ) チーム編成は監督1、選手4、補欠3を認める。ただし、補欠選手は申込書に明記された者でなければ交替できない。
 エ) チームリーダーは監督がこれを兼務することを原則とし、やむを得ない場合は補欠選手の1名をもってこれにあてることができる。
 オ) 団体・個人・補欠選手の相互交替を認める。
- (新体操) ア) 団体競技は男女共各校1チーム。
 イ) 個人競技は男子8名女子5名まで出場ことができ、補欠3名を認める。
 ウ) チーム編成は監督1、選手(男6、女5)、補欠3を認める。ただし、補欠選手は申込書に明記された者でなければ交替できない。

8 表彰 9 申込方法

体操競技、新体操ともに団体3位、個人3位、種目別3位まで表彰する。

- (1) 所定の申込用紙に1部作成し下記へ送付すること。
- (2) 申込先： 〒886-8506 小林市水流迫664番地2 小林秀峰高校内
 永野 護 宛 TEL0984-23-2252

10 参加料

- (1) 1人400円とする。
- (2) 徴収方法は、各学校の指示に従うこと。参加料の納入は、高体連発番の文書に従い、学校単位で行うこと。
- (3) 申込締切日： 令和 5年 4月28日(金) 必着のこと。

11 資格取得

- (1) 体操競技 ア) 団体の部1位全国大会・九州大会出場資格を得る。
 イ) ① 全国大会個人の部は上位2名が出場資格を得る。
 ② 九州大会個人の部は上位5名が出場資格を得るが、団体出場校は除き、同一校3名までとする。その他の場合は、九州大会要項に準ずる。
 ウ) 団体・個人とも同点1位の場合は、日本体操協会競技規則の定めるタイブレークを用いる。
 ① 団体・個人選手権ともに、一番点数の低い種目を除いた種目の合計得点の高い方。
 ② 次の種目合計得点の高い方を繰り返す。
- (2) 新体操 ア) 団体の部女子1位は全国大会、男女1位・2位は九州大会出場資格を得る。
 イ) 個人の部1位は全国大会、1位・2位は九州大会出場資格を得る。
 ウ) 代表決定の出場チーム・選手が同点の場合は、次の方法による。

男子団体競技	女子団体競技
①構成得点の高い方。 ②主任審判員(構成・実施)の合計得点の高い方。 ③主任審判員を除く審判員の合計得点の高い方。	①Eスコアの高いチーム。 ②上記①において同点の場合、最も低い技術減点(ET)を有するチーム。
男子個人競技	女子個人競技
①最高得点を獲得した種目数の多い方。 ②主任審判員の得点の高い方。 ③主任審判員を除く審判員の合計得点の高い方。	①2種目のEスコアの合計が高い選手。 ②上記①において同点の場合、2種目の技術減点(ET)が低い選手。

12 連絡事項

- (1) 競技中の疾病、傷害などの応急処置は主管者側ですが、その後は日本スポーツ振興センターの規定に従って各学校で処置すること。
- (2) 参加者は保険証を持参すること。
- (3) 不明な点は、永野 護(体操専門委員長 小林秀峰高校)宛に連絡すること。

* 高体連大会で取り扱う個人情報については、要覧記載の「宮崎県高等学校体育連盟個人情報保護方針」に則る。